

本耶馬溪地区 屋形1区・2区



災害にも強い地域づくりのための防災訓練

1月17日、屋形1区・2区合同で九州北部の豪雨災害を想定した避難訓練を行いました。この日はとても寒い中での訓練でしたが、住民、消防団、関係者含め、約100名と多くの方が参加されました。

まず地区ごとで決めた、一時避難場所へ避難し、安否確認を行い、二次避難所へ避難しました。その後、屋形地区公民館に移動し、消防署による防災教室を行い、簡易担架の作り方、心肺蘇生法などを学びました。

この日は、阪神淡路大震災から21年ということもあり、今回の訓練が災害時、どのように行動するかを改めて考えるきっかけとなり、日頃からの隣近所の声掛け、支え合いの重要性が再確認できました。



避難場所までの避難のようす



防災教室のようす



炊き出しの温かい豚汁・おにぎりを
皆さんでいただきました



リアカーで要援護者を救助